

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年3月25日				
事業所名		公表日 令和8年3月25日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	学習支援の小学生の体の大きさに合った机や椅子があるといい。姿勢が保ちにくいと感じている。様々な活動に対応できる広さがあるといいと思います。	児発事業所と活動スペースを共有していることもあり、学童低学年サイズにそぐわない現状にある。背もたれの無いイスを使用する等の考慮をしていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	9	0	基準に基づいた人員が確保されています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	1人1つずつロッカーを準備し、使いやすさを考慮しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	2	小学生なので、子どもの身長に合った机椅子が欲しいと思います。 子供の身長に合った机と椅子が必要 就業前点検、活動後の掃除を毎月実施しています。	1と同様
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	こどもの特性に応じて、異なる活動部屋を融通してもらっています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	1	「広く職員が参加」という点が課題だと感じています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	学童は評価表があるのか、把握できていない部分があります。	保護者向け評価表の内容から、業務改善に向けて職員間の共有がはかれていない。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	療育に参加している職員から、その都度意見を伺うようにしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	1	学童は第三者評価を受けていないのでは？	第三者による外部評価は受けていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	放課後連の主催する研修に参加しています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	毎月更新して、保護者の方にもご確認いただいております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	1	ニーズの分析ができているか、課題が残ります。 保育所等訪問を実施するための保護者との面談が、昨年より計画的に進められている。	個別支援計画作成時のアセスメントは紙面記入がベースだが適時、対面する保護者からは児童のあらわれを口頭で確認している。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	自発官を中心に、共通理解は進んでいると思います。 学童担当者やまど担当者や、学校訪問担当者で情報交換しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1	共有されていますが、計画に沿った支援ができていないと言います。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	日誌と個別記録が活用されています。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	地域のごみ拾い活動は特に力を入れています。	5領域に基づいた支援計画を作成している。具体的な支援内容は特に設定主活動において、個別の特性にあわせた支援を設け、行っている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	担当職員間でよく話し合って決めています。プログラムとしては立案していません。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	複数の職員でチェックして、マンネリ化を防いでいます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	前半は個別、後半は集団、療育時間の中でバランスを取って行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	特に、個別対応が必要な子は、その日の目標を誰が主として対応するのかを必ず確認してから療育に臨んでいます。保育所に行く職員と、担当とが別の場合もあるため、情報共有等を大切にしています。	要個別支援児童等の想定される行動やリスク等は必ず確認し、役割分担や対応アイテム等の準備・確認は行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	必ず振り返り、共有は実施しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	特に保護者とのやりとりについては、特記すべきものは別のファイルに記録し管理をしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	相談支援事業所と連携し、行っています。わかりかねます。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	できていると思います。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	「やりたくない」「参加したくない」という自己主張も丁寧に受け止めた上で、どうやったら参加できるか、本人に合った支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児発管が常に参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	必要あらば、医療受診を勧める等、他機関との連携を進めています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	学校との連携に課題が残ります。	児発の保育所等訪問担当職員と学校生活の様子は把握しているが、学校と直接的な情報共有機会は行っていない。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	かけはしシートを活用して理解に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	このような事例に直面していないので、何とも申し上げられません。わかりかねます。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	まだそのような必要性を感じたことがないのですが、いずれ必要になるかもしれません。	児童発達支援センター敷地内に減設されている。研修の参加、スーパーバイズ、助言等も適時必要に応じて受けている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	2	わかりかねます。ないです。時間的、移動手段の観点から、なかなか機会が持てないのが現状です。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1	管理者ではないので、上記の会議への参加機会はまれであると思います。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	相談支援事業所を中心によく連携できていると思います。	

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	できていないと思います。今後の課題です。	家族参加ができる外部研修の案内や情報提供等は行っているが、事業所では実施していない。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	年始の始めにガイダンスを実施しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	確認した上で作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	児発管が実施していると思います。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	常に対応できるような体制、心構えを準備し、ケースによっては相談部門からのフォローも受けながら支図を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	0	月1回、お話を実施し、タイムリーな課題を提供と、意見交流を行っています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	苦情があった際は、すぐに児発管に報告しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1	行事予定は配布していますが、定期的な通信は未発行です。 わかりかねます。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	カラーファイルを使用する。特に重要な書類は鍵付きの棚にしまう等細心の注意を払っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	写真、イラストを使った視覚支援を丁寧に行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	2	学童では、招待行事は実施していません。 わかりかねます。	
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	カリキュラムの中に明記し訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	学童独自のBCPは作成していません。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	利用開始時に、書面および口頭で確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	現在、学童には該当者がいませんが、今後の該当者が利用する場合、必ず指示書の提出をお願いしていきます。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	非常時の対応等、より現実的な訓練が今後必要になってくると思います。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	周知が行き渡っているとは言い難く、今後の課題と言えます。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハットは、その場ですぐに共有・確認し、事故防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	年度の切り替わりに虐待防止研修に参加しています。	

	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1	子どもや保護者への事業了解が不足していると思います。今後の課題です。	
--	----	--	---	---	------------------------------------	--